

**Microchip 社、maXTouch® M1 タッチスクリーン コントローラ シリーズを拡充し、  
より広範なディスプレイ サイズに対応**

**極小から超大型まで、最新の車載ディスプレイの幅広いフォーマットに対応し、  
信頼性の高いタッチセンシングを実現する新型タッチ コントローラ**

2026 年 1 月 29 日[NASDAQ:MCHP] – Microchip Technology Incorporated(日本法人:東京都港区浜松町、代表: 櫛晴彦 以下 Microchip 社)は [maXTouch® M1](#) ファミリのタッチスクリーン コントローラをさらに拡充した事を発表しました。今回の拡充により、最大 42 インチのフリーフォーム ワイドディスプレイから 2~5 インチの小型スクリーンまで、さらに幅広い車載ディスプレイに信頼性が高くセキュアなタッチ検出を提供できるようになりました。[ATMXT3072M1-HC](#) と [ATMXT288M1](#) の両製品は、OLED(有機発光ダイオード)や microLED といった最新の技術をサポートすると共に、多様なディスプレイ サイズに対応するように設計されています。

M1 コントローラは、Microchip 社独自の Smart Mutual タッチ取得方式と高度なアルゴリズムを採用する事で、前世代と比較してタッチ SNR(信号/ノイズ比)を最大 15 dB 向上させました。Smart Mutual 技術は、高い容量性負荷と大きなディスプレイ ノイズ結合にさらされる内蔵タッチセンサにおいても、信頼性の高いタッチ検出が可能になるよう設計されています。この機能は、オンセルOLED等の大型で薄型のディスプレイにとって特に重要です。これらのディスプレイでは、組み込みタッチ電極がより高い容量負荷とより大きなノイズ結合にさらされるため、他の静電容量式ソリューションでは、誤検出や検出漏れのリスクが高まる事が課題でした。

Microchip 社ヒューマンマシン インターフェイス部門取締役の Giovanni Fontana は次のように述べています。「進化するユーザーの期待と、ソフトウェア定義車両の台頭により、車載コックピットディスプレイは急速に変化しています。OEM 各社は、より直感的で没入感のあるユーザー体験を提供するため、サイズや形状、技術の限界に挑戦しています。今回の maXTouch M1 ファミリの拡充は、このような次世代ディスプレイにタッチを組み込む際の複雑さを解消し、多様なフォーマットに対して堅牢でセキュアなタッチ検出を提供するものです」

ATMXT3072M1-HC は、クラスタと CID(センター インフォメーションディスプレイ)を一体化したような、連続した大型のタッチセンサ構造向けに設計されています。単一のハードウェア設計で左ハンドル車と右ハンドル車の両方のニーズに対応できるため、専用ハードウェアを設計する必要がなく、OEM のグローバル車載市場におけるサポートも簡素化できます。また、連続したタッチセンサ構造により、周囲の照明環境に左右されない均一な光学特性を維持できます。ホスト/クライアント構成の ATMXT3072M1-HC ソリューションは、ホスト MCU に対して 1 つの maXTouch デバイスとして認識されます。タッチ座標を統合するための外部 MCU が不要になるため、システム設計が簡素化されます。maXTouch クライアントとのやりとりは、maXTouch ホストデバイスによって管理されます。

Microchip 社、maXTouch® M1 タッチスクリーン コントローラ シリーズを拡充し、より広範なディスプレイ サイズに対応

2-2-2-2

一方、小型スクリーン向けの ATMXT288M1 は、従来のアナログ時計や AI ドライバ アシスタント等、スペース制約が厳しい小型車載ディスプレイ ソリューションへの高まる需要に応えるために設計されました。薄型ファインピッチ ボール グリッドアレイ(TFBGA60)パッケージを採用する事で、既存の最小クラスの車載認定済み maXTouch 製品と比較して、PCB(プリント基板)面積を 20%削減しました。M1 ファミリーに TFBGA パッケージが採用されたのは、ATMXT288M1 が初となります。限られたスペースで OLED/microLED 技術を利用するアプリケーションに特に適しています。

Microchip 社の [maXTouch M1 世代](#) タッチスクリーン コントローラの詳細はウェブサイトをご覧ください。

## 開発ツール

ATMXT3072M1-HC および ATMXT288M1 タッチスクリーンコントローラは、Microchip 社の maXTouch エコシステムでサポートされています。開発向けには maXTouch Studio IDE(統合開発環境)、生産ラインのテストには MTA (maXTouch Analyzer)をご利用頂けます。また、Linux®、Android™、Windows®、AliOS、Automotive QNX™、Zephyr®等、様々な RTOS プラットフォーム向けのホスト ソフトウェア ドライバをサポートしています。

## 価格と在庫/供給状況

価格とサンプル注文の詳細は Microchip 社または[正規代理店にお問い合わせください](#)。

## リソース

高画質の写真は報道関係専用窓口までお問い合わせ頂くか、Flickr でご覧ください。掲載に許可は不要です。

- アプリケーション画像: <https://www.flickr.com/photos/microchiptechnology/55038326170/sizes//>

## Microchip Technology 社について:

Microchip 社は、幅広い半導体製品を提供する半導体サプライヤであり、新しい技術を市場投入する際の重要な課題を解決するトータルシステム ソリューションを通じて、革新的な設計をより簡単に実現する事に尽力しています。使いやすい開発ツールと包括的な製品ポートフォリオにより、コンセプトの創出から完成までの設計プロセス全体にわたってお客様をサポートします。Microchip 社は本社をアリゾナ州 Chandler に構え、産業、車載、民生、航空宇宙と防衛、通信、コンピューティングの市場で優れた技術サポートとソリューションを提供しています。詳細は Microchip 社ウェブサイト([www.microchip.com](http://www.microchip.com))をご覧ください。

###

Note: Microchip 社の名称とロゴ、Microchip ロゴ、maXTouch は米国およびその他の国における Microchip Technology Incorporated の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

Microchip 社、maXTouch® M1 タッチスクリーン コントローラ シリーズを拡充し、より広範なディスプレイ サイズに対応

3-3-3-3

詳細については、以下にお問い合わせください。

Helen Tang (Microchip 社):

(メール: [Helen.Tang@microchip.com](mailto:Helen.Tang@microchip.com))

松田、仙場 (共同 PR):

(メール: [mchp-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:mchp-pr@kyodo-pr.co.jp))

報道関係者の方へ: このニュースリリースのメールによる配信については、共同PR 株式会社 松田もしくは仙場まで電話(03) 6260 4863 またはメール [mchp-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:mchp-pr@kyodo-pr.co.jp) でお問い合わせください。